ユニバス（洗い場付浴槽）

UB-2130H3　UB-1220FSM　UB-800FM
UB-1670FSM2　UB-1100FM

設置前に必ずお読みください

- 設置に際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく設置してください。
  ※この取付説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので、十分ご注意ください。
- 「保証書」および「取扱説明書」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
- 人造大理石浴槽、FRP 浴槽を処分する場合は、許可を受けている処理業者に依頼するか、破砕の上許可された処理場にて処理してください。
- 浴槽用浄化保温器（24 時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
  ※継続して使用しますと、**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する恐れ**があります。
- 浴槽に風呂釜用開口をしないでください。

設置前のご注意

- ユニバス本体に破損等がないことを確認してください。
  ※商品には万全を期してありますが、輸送等で**破損している場合**があります。
  そのような場合は、取扱店または当社支社へお問い合わせください。

- 納品された部品の確認を必ず行ってください。

- 排水方向と出入口の方向を確認してください。

- 壁材、ドアとの取合いを確認してください。

- トラップの縦引、横引き、スリーブの位置を確認してください。

- 必ず搬入経路を確保してください。
  また、運搬するときは必要人数を確保し、配管を持ったり、引きずらないでください。
  ※配管や本体が破損する恐れがあります。

安全のため必ずお読みください

- ここでは設置に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。設置前にこの項目をよくお読みいただき、正しく設置してください。

用語および記号の説明

⚠ 注意 ..... 「取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠ ..... 気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

⃠ ..... 行ってはいけない「禁止」の内容です。

❗ ..... 必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 注意

浴槽やカウンターの上に乗って作業をしないでください。 ⃠
※足を滑らせて**ケガをしたり、浴槽やカウンターにキズが付く恐れ**があります。

トラップ取付に際しては、絶対に潤滑剤等を使用しないでください。 ⃠
※ヒビ割れを起こして漏水し、**家財を汚したり腐らせる恐れ**があります。

⚠ 注意

設置に使用する溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は容器等に記載の注意表示に従って、正しく使用してください。 ❗
※使い方を誤ると**人体に悪影響を及ぼしたり、使用部材の劣化や損傷の原因**になることがあります。

ユニバスと壁・タイルの接合部分は、必ず3mm 以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。 ❗
※設置に不備があると**漏水したり、タイルやユニバスが破損する恐れ**があります。

水栓金具を取り付ける場合は、各々の取付説明書もよくお読みの上、正しく取り付けてください。 ❗
※取付けが不完全な場合、漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

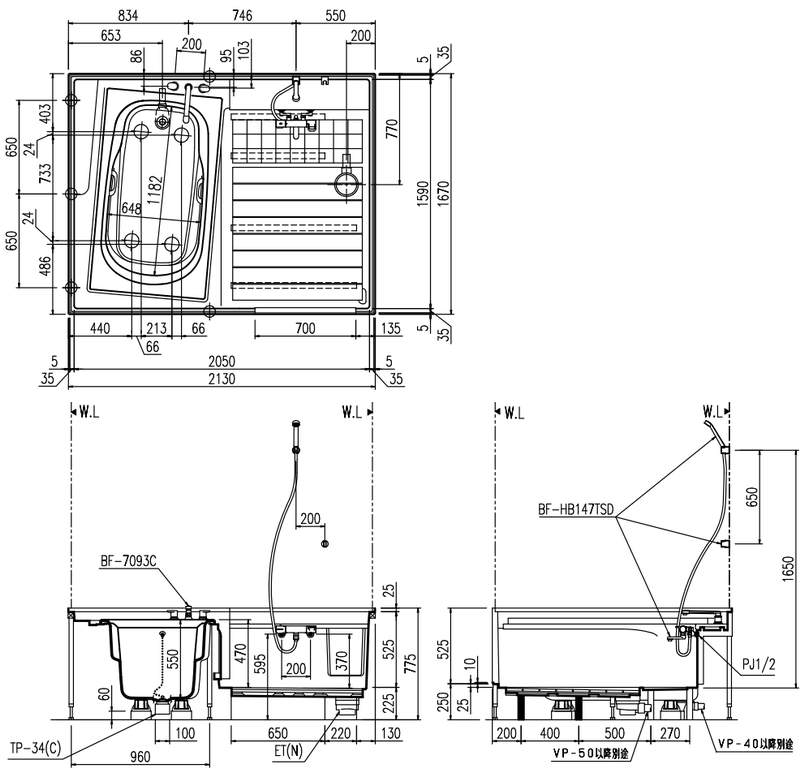
ドア枠とユニバスとの接合部、および壁・タイルとの接合部には、必ずシリコンコーキングをしてください。 ❗
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

配管点検口付の場合は、水栓金具取付後、必ず点検口の周囲にシリコンコーキングをしてください。 ❗
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

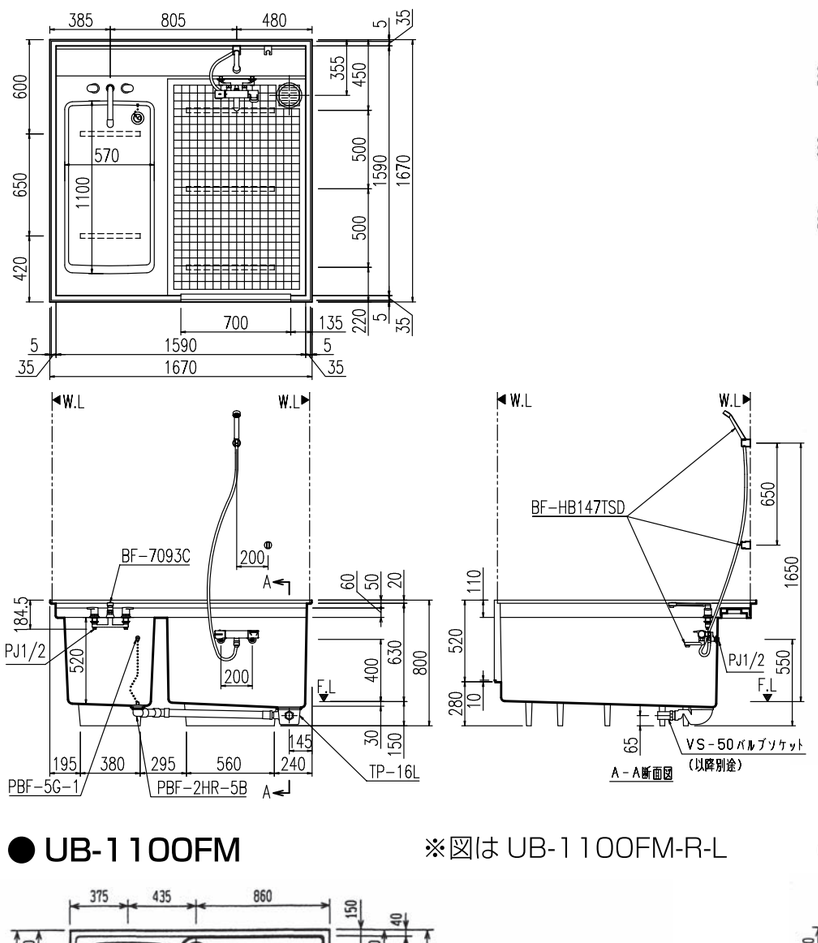
給排水管の接続は、必ずシールをしてください。 ❗
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

商品図

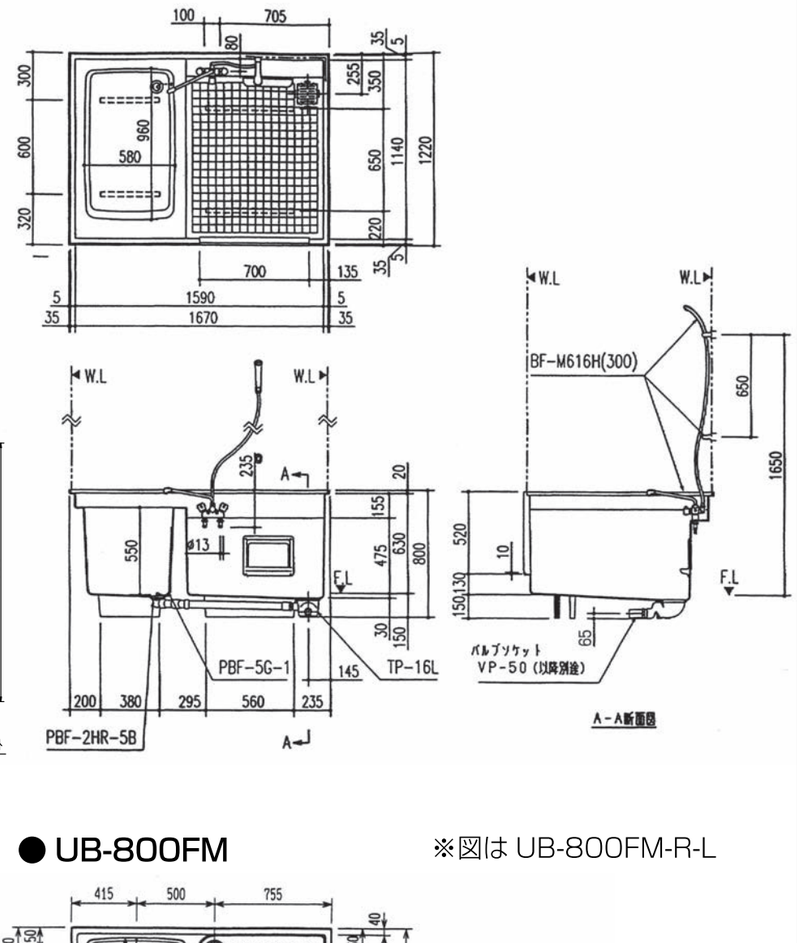
● UB-2130H3　※図は UB-2130H3-R-L



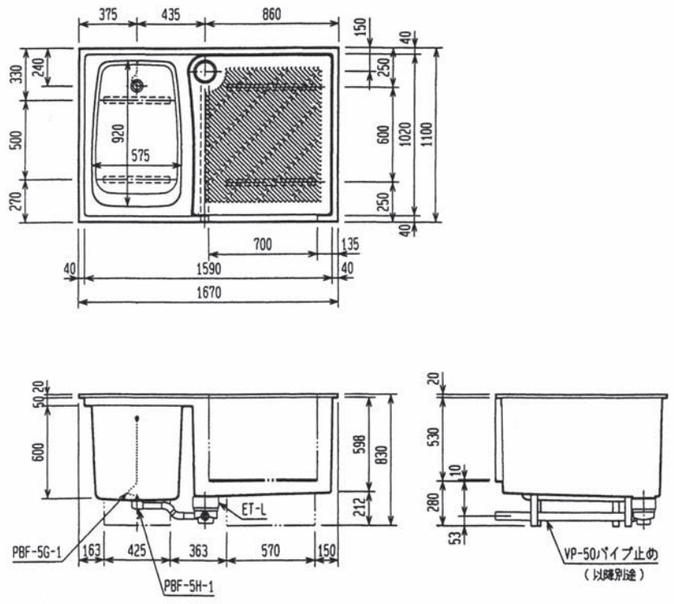
● UB-1670FSM2　※図は UB-1670FSM2-R-L



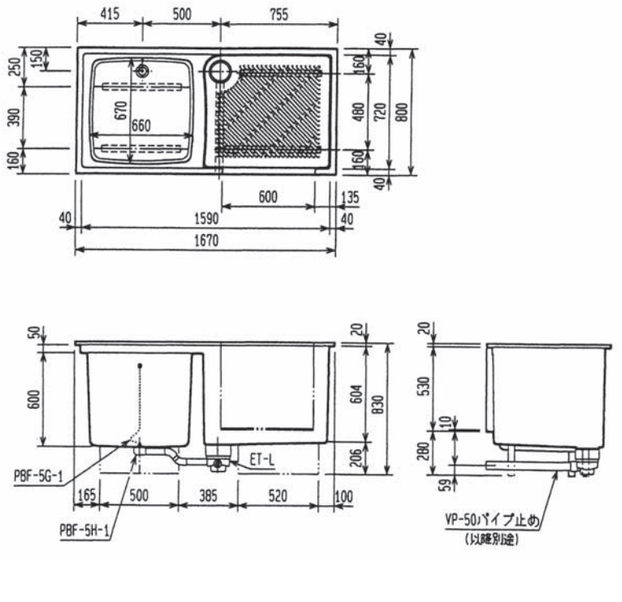
● UB-1220FSM　※図は UB-1220FSM-R-L



● UB-1100FM　※図は UB-1100FM-R-L



● UB-800FM　※図は UB-800FM-R-L



株式会社 LIXIL

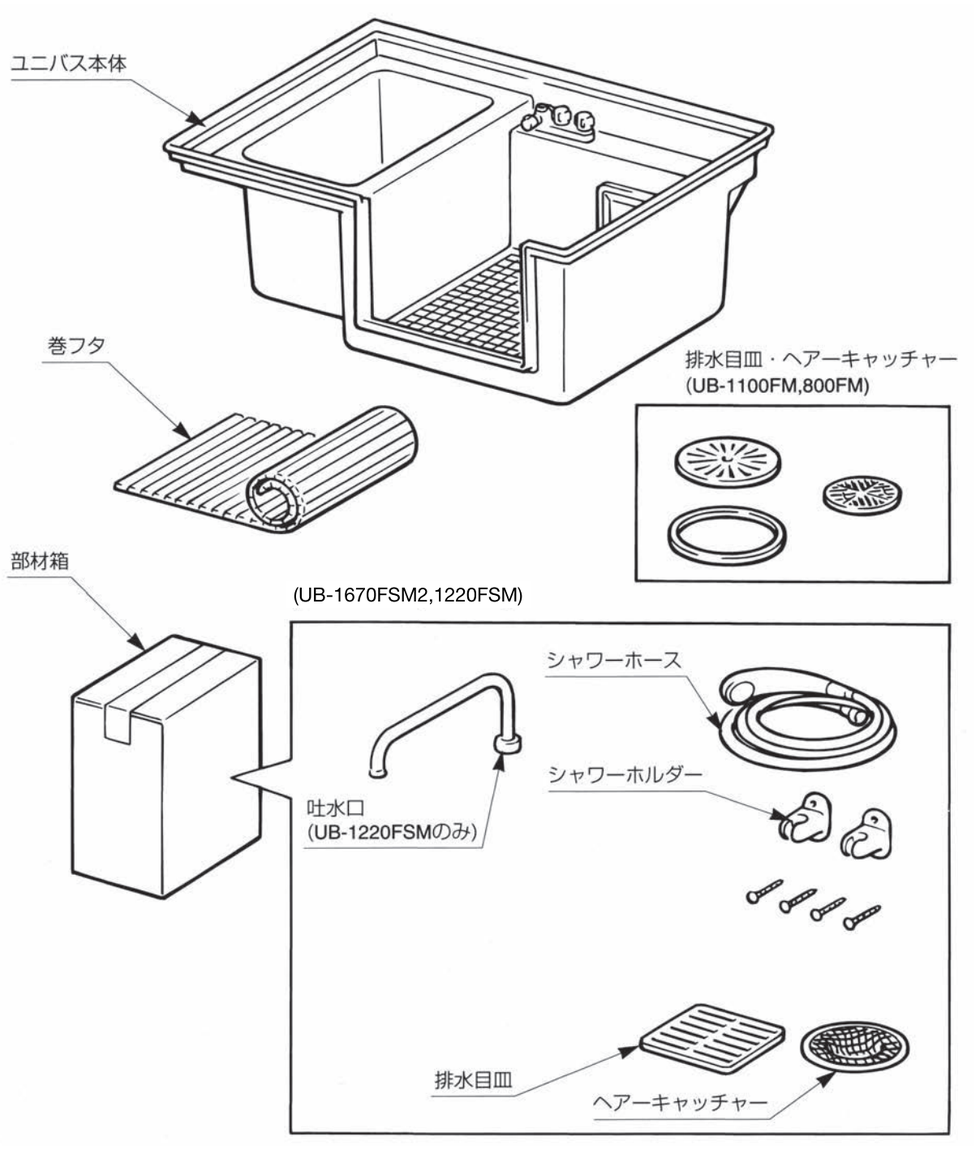
商品・取付方法についてのお問合わせは、お客さま相談センターへ
ナビダイヤル　☎0570-017-173
受付時間　平日　9：00～18：00　　土日・祝日　9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
この取付説明書をよく読み、正しく本商品を設置してください。

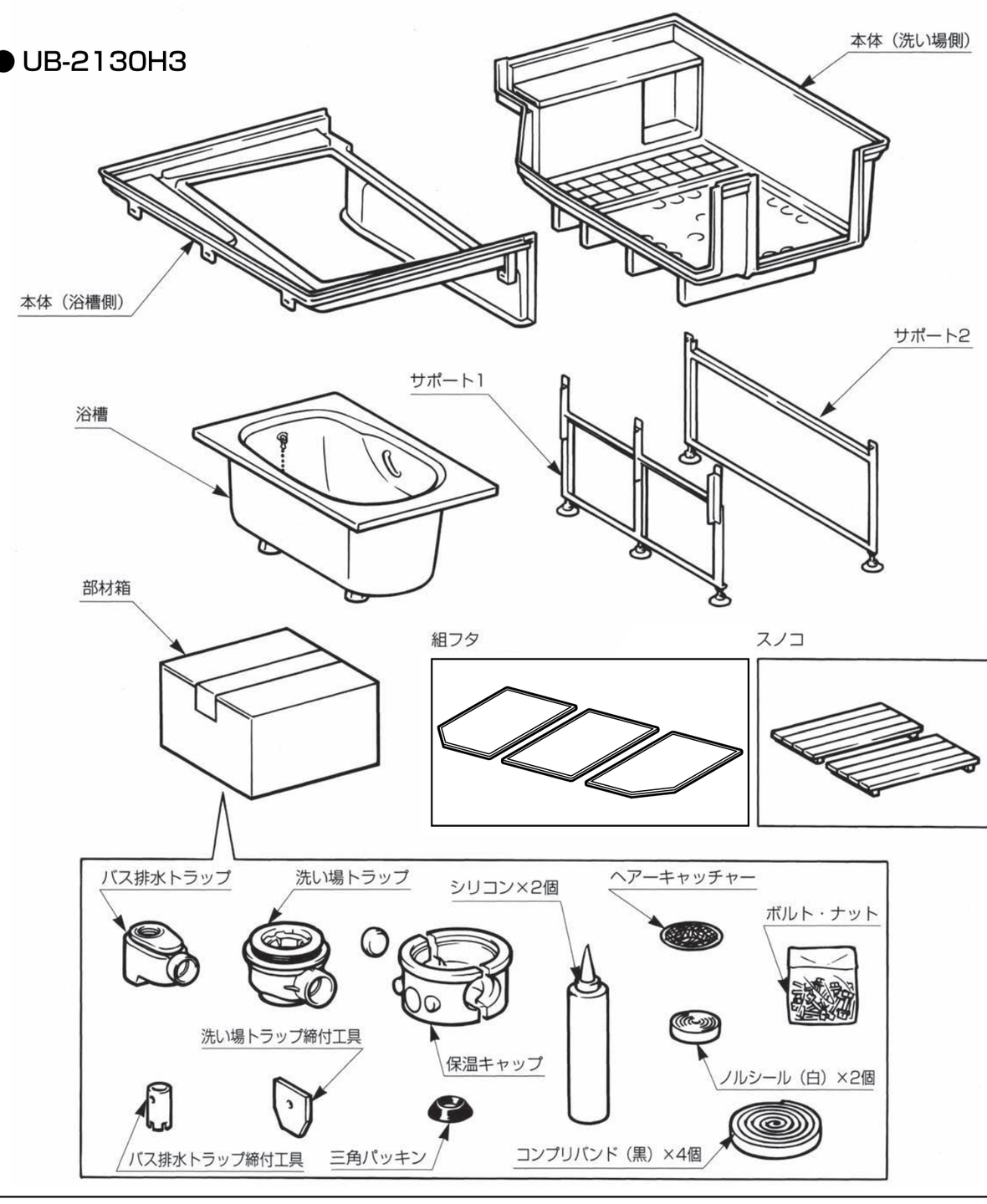
部品の確認

（梱包内容を確認してください。）

● UB-1670FSM2, 1220FSM, 1100FM, 800FM



● UB-2130H3

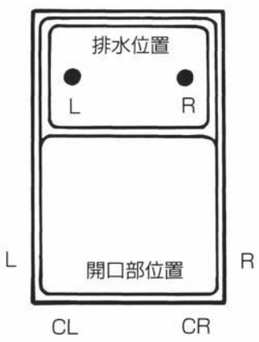


仕様

品　番	UB-2130H3		UB-1670FSM2		UB-1220FSM		UB-1100FM		UB-800FM	
外形寸法（mm）	2,130×1,670×775		1,670×1,670×800		1,670×1,220×775		1,670×1,100×830		1,670×800×830	
満水量（L）	325		310		300		290		260	
質量（kg）	141		90		70		60		55	
排水（水栓）位置	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L
出入口	L・CL	R・CR	L・CL	R・CR	L・CL	R・CR	L・CL	R・CR	L・C	R

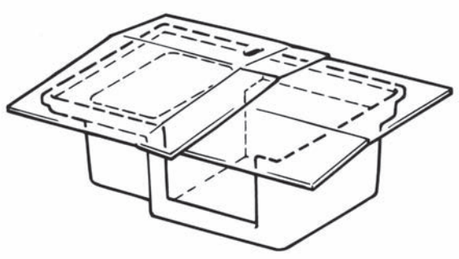
ユニバス各機種の排水（水栓）位置と出入口位置は、右図のように浴槽に向かって立ち、右手側（R）左手側（L）で表示しています。

排水と出入り口位置



設置上のご注意

●ユニバス設置中は、設置に関係ない部分をビニールカバーやダンボール等で保護してください。
ユニバス据付け後は、ユニバス全体をビニールカバーやダンボール等で保護してください。
※ユニバスが**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。



●トーチランプの火や溶接の火花、タバコの火などがユニバスに当らないようにしてください。
※ユニバスが**破損したり、表面にキズやもらいサビが付く恐れ**があります。

●脚立等をユニバス内に立てないでください。
やむをえずたてるときは必ずダンボールやベニヤ板等を敷いて保護してください。
※ユニバスが**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。

●浴槽の上端部にものを載せたり、工具などを落さないでください。
※ユニバスが**破損したり、表面にキズが付く恐れ**があります。

●ユニバスのそばで、金物の切断等はしないでください。
※切粉が飛散して**もらいサビの原因**となります。

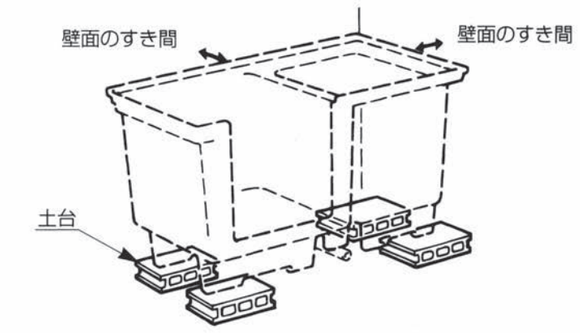
●ユニバスにタイル洗いの塩酸等を含んだ洗剤をかけないでください。
※ユニバスが**傷みます**。
万一かかった場合は、すぐに水で洗い流してください。

設置方法（UB-1670FSM2, 1220FSM, 1100FM, 800FM）

1 下地作り

① 商品図を参考にして、土台の位置決めをします。
② レンガやブロックを使用して土台を作り、モルタルで固定します。

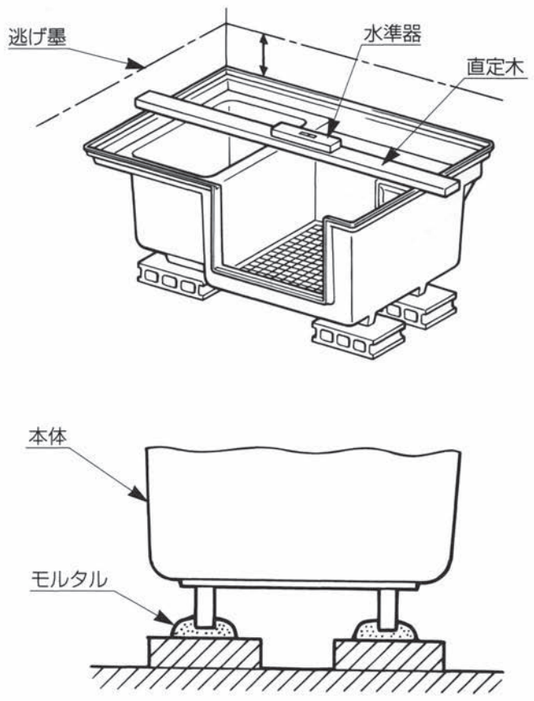
●レンガやブロックは上面が水平になるようにしてください。



2 本体の据付け

① 土台の上にモルタル（固練り）を盛ります。
② 本体を土台の上にのせます。
③ 本体を徐々に押し下げ、水準器を本体上面にのせて水平を出します。

●本体を固定したら、モルタルが硬化するまで放置し、本体の上に物を置かないでください。



3 排水管の接続

排水トラップから出ている排水管を接続します。

4 水栓金具の取付け

水栓金具の取付説明書をよくお読みの上、水栓金具を取り付け、給水管・給湯管と接続します。
配管点検口付の場合は、いったん点検口を取り外し、配管を接続した後、再度点検口を取り付けます。

⚠ 注意

配管点検口付の場合は、水栓金具取付後、必ず点検口の周囲にシリコンコーキングをしてください。
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

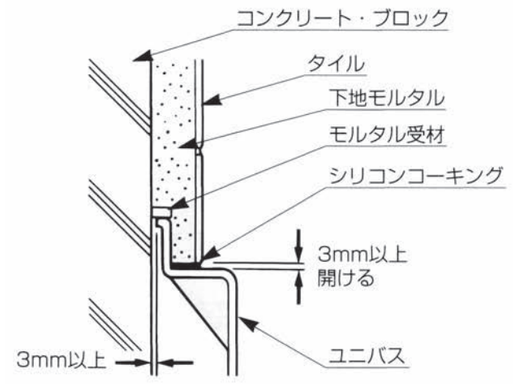
5 確認

設置後、次の事項を確認してください。
●漏水はないか
●水栓金具は正常に作動するか

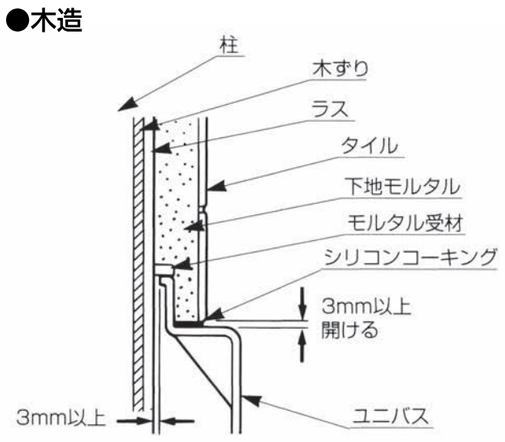
■取合い例

1. 壁材との取合い例

●コンクリート・ブロック造



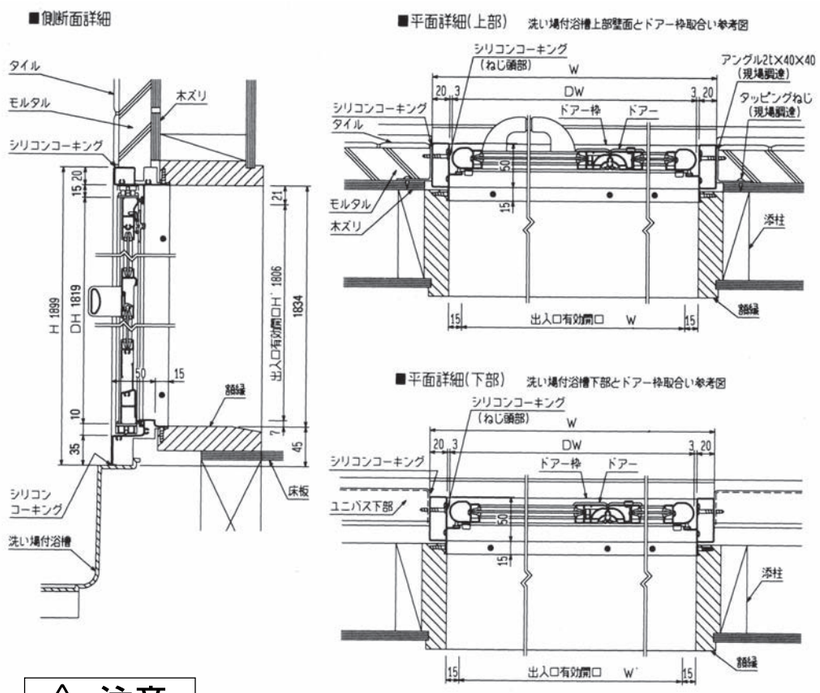
●木造



⚠ 注意

ユニバスと壁・タイルの接合部分は必ず 3mm 以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。
※設置に不備があると**漏水したり、タイルやユニバスが破損する恐れ**があります。

2. ドアとの取合い例（VDY-7001900(42)／W-M, VDY6001900(42)／W-M の場合）



浴室アルミドア 品番	VDY-7001900 (42)W-M	VDY-6001900 (42)W-M
W	699 ± 1.0	599 ± 1.0
DW	653 ± 1.0	553 ± 1.0
W'	629 ± 1.0	529 ± 1.0

⚠ 注意

ドア枠とユニバスの接合部、および壁・タイルとの接合部には、必ずシリコンコーキングをしてください。
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

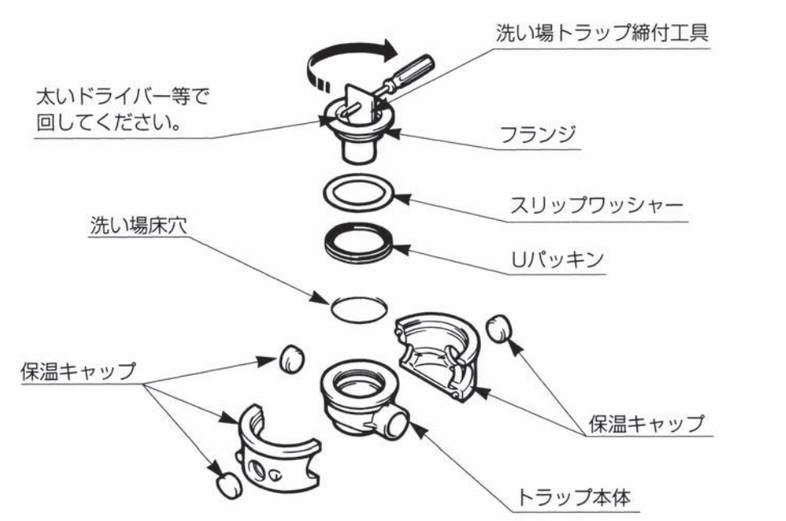
設置方法（UB-2130H3）

1 洗い場トラップの取付け

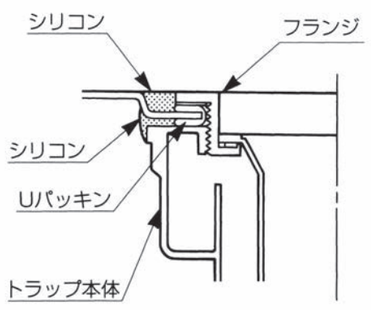
① Uパッキンを洗い場床穴に、はめ込みます。
② 下図のとおりに、洗い場床穴に洗い場トラップを同梱の締付工具で、しっかりと取り付けます。

⚠ 注意

ネジ部などには絶対に潤滑剤等を使用しないでください。
※ヒビ割れを起こして漏水し、**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。



③ 漏水しないことを確認します。
④ フランジ周囲および裏側のパッキン周囲（トラップと洗い場床の間）をシリコンでコーキングします。
⑤ 保温キャップをシリコンとテープでトラップ本体に取り付けます。



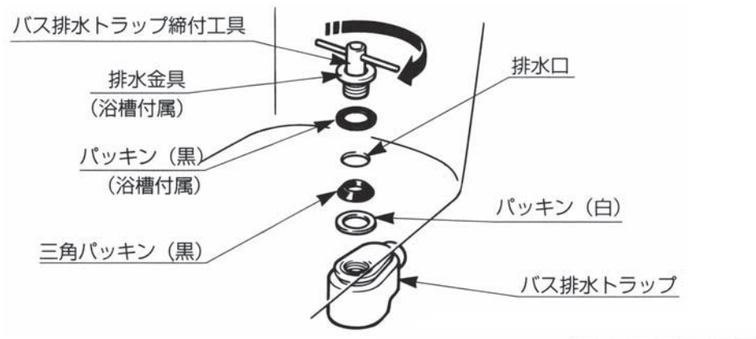
2 バス排水トラップの取付け

① 浴槽裏側に付いている排水金具のロットナット、パッキンを外します。
② 下図のとおりに、浴槽排水口に排水金具とバス排水トラップを同梱の締付工具で、しっかりと取り付けます。（最後の締付けはトラップを回して行ってください。）

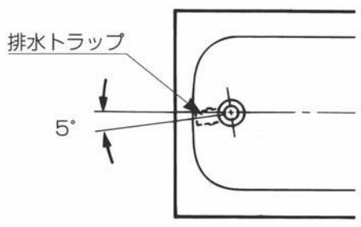
⚠ 注意

ネジ部などには絶対に潤滑剤等を使用しないでください。
※ヒビ割れを起こして漏水し、**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

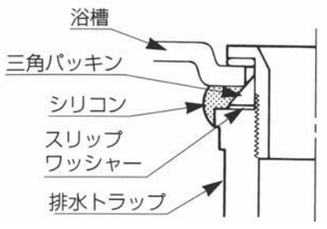
●取り外した浴槽裏側のロットナット、パッキンは使用しないので破棄してください。
●三角パッキンは外径の小さい側を上にして取り付けてください。



●排水口は壁面に対して垂直になるようにしてください。（約 5° 傾けます。）



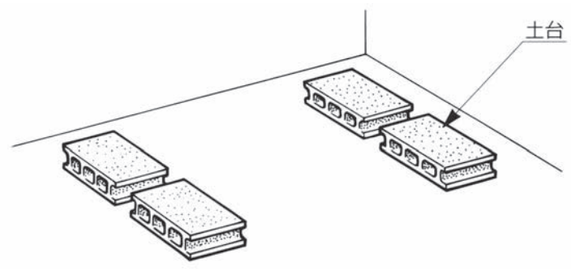
③ 漏水しないことを確認します。
④ 三角パッキン周囲（排水トラップと浴槽の間）をシリコンでコーキングします。



3 下地作り

① 商品図を参考にして、土台の位置決めをします。
② レンガやブロックを使用して土台を作り、モルタルで固定します。

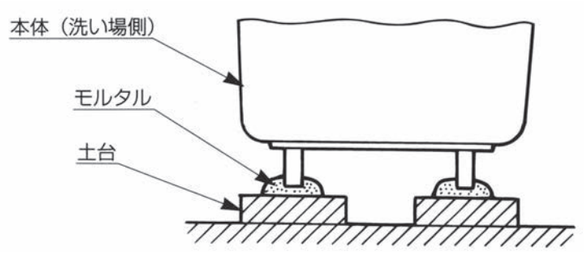
●レンガやブロックは上面が水平になるようにしてください。



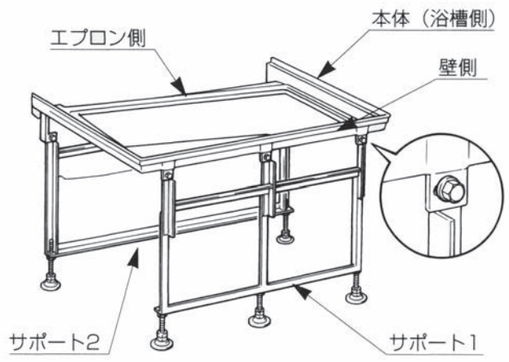
4 本体(洗い場側)の据付け

① 土台の上にモルタル（固練り）を盛ります。
② 本体（洗い場側）を土台の上にのせます。
③ 本体を徐々に押し下げ、水準器を本体上面にのせて水平を出します。

●本体を固定したら、モルタルが硬化するまで放置し、本体の上に物を置かないでください。



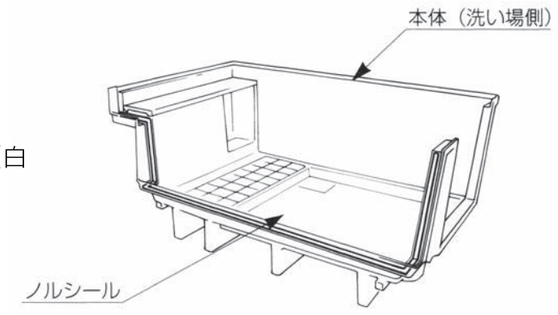
5 サポートの取付け



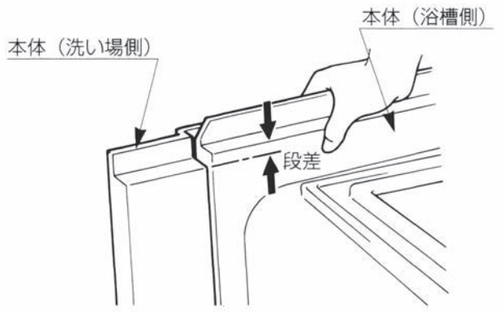
① 本体（浴槽側）の壁側にサポート１（3 本脚）を、ボルト・ナットで取り付けます。

② 本体（浴槽側）のエプロン側にサポート２（2 本脚）を、ボルト・ナットで取り付けます。

6 本体の取付け

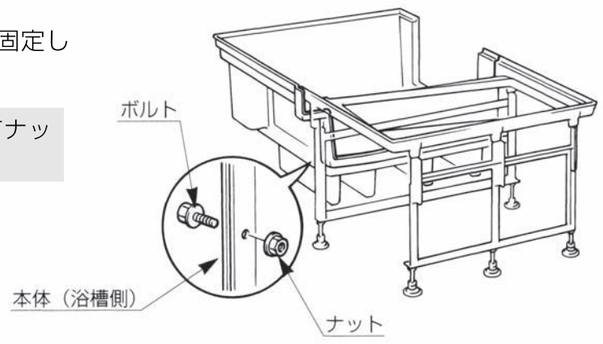


① 本体（洗い場側）の接続面にノルシール（白いテープ）を貼り付けます。



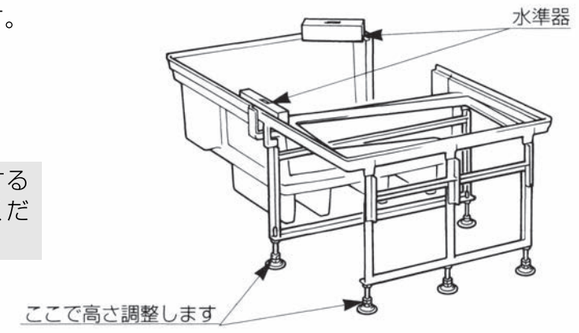
② 本体（浴槽側）を（洗い場側）に取り付けます。

●本体（浴槽側）を（洗い場側）に押しつけて、接合面に段差ができないようにしてください。



③ 接合部をボルト・ナットでしっかりと固定します。

●ボルトは必ず本体（浴槽側）から通してナットで締め付けてください。

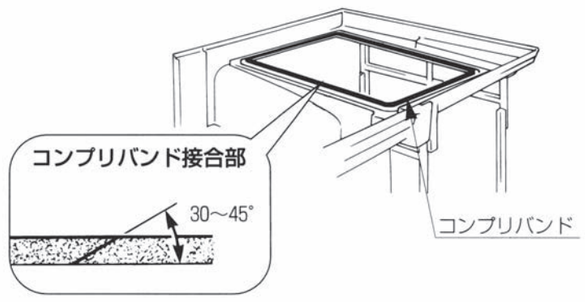


④ サポートの高さを調整して水平を出します。

⑤ サポートをモルタル等で固定します。

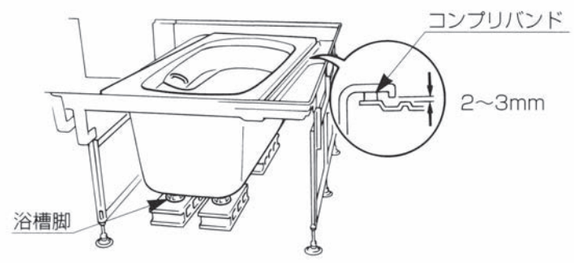
●サポートを固定したら、モルタルが硬化するまで放置し、本体の上に物を置かないでください。

7 浴槽の取付け



① 本体の浴槽接合面全周にコンプリバンド（黒いテープ）を貼り付けます。

●コンプリバンドの接合部は、30 ～ 45° を目安にカットして重ねてください。

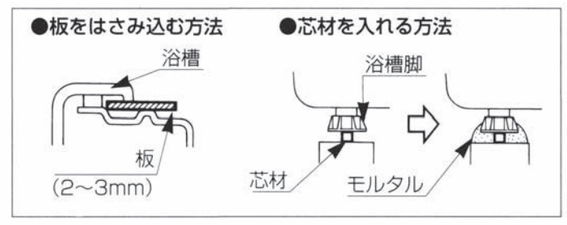


② 浴槽を上から挿入します。（仮置き）

●浴槽は排水トラップ側より挿入してください。

③ 浴槽脚を回して、モルタル分を見込んだ高さに調整します。

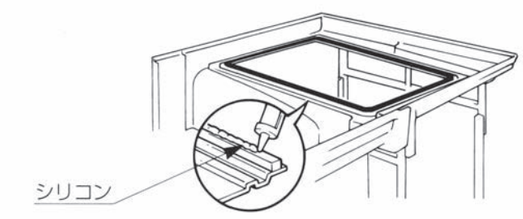
●トラップが土台に当たっていないことを確認してください。
●浴槽とユニバス本体のクリアランスを 2 ～ 3mm 確保してください。
クリアランスの確保には、浴槽の四隅に厚さ 3mm 程度の板等をはさみ込むか、浴槽脚の下に φ 30mm 以上の芯材を入れると容易になります。



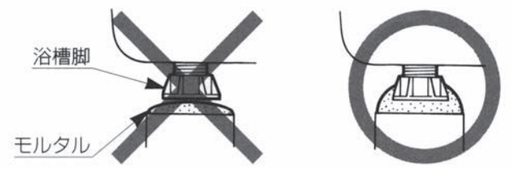
④ 浴槽をいったん取り出します。

⑤ コンプリバンド上面にシリコンを塗布し、浴槽用の土台にモルタルを盛ってから、再度浴槽を挿入します。

●浴槽とユニバス本体のクリアランスを 2 ～ 3mm 確保してください。
クリアランスの確保には、浴槽の四隅に厚さ 3mm 程度の板等をはさみ込むか、浴槽脚の下に φ 30mm 以上の芯材を入れると容易になります。

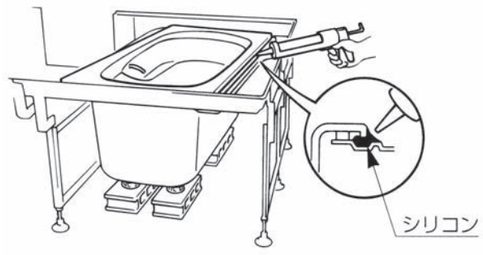


⑥ 浴槽脚のモルタル固定が確実にされていることを確認し、モルタルが硬化するまで放置します。

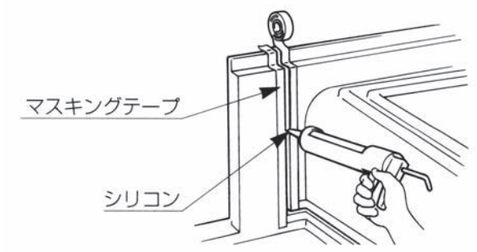


⑦ 浴槽全周をシリコンでコーキングします。

●浴槽四隅に板等がはさみ込まれている場合は、事前に抜き取ってください。



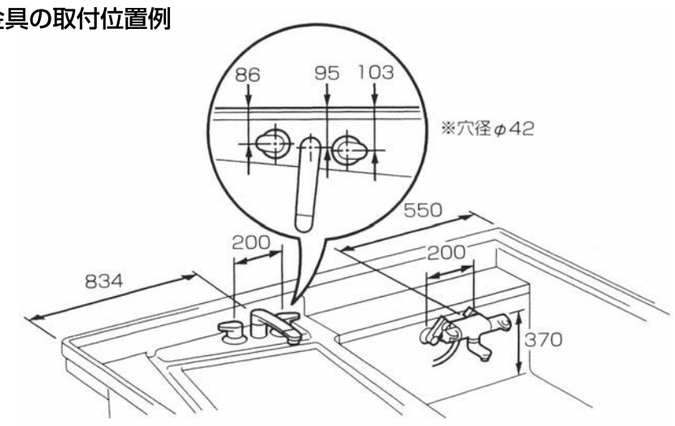
⑧ 洗い場側と浴槽側の接合部をシリコンでコーキングします。



8 水栓金具の取付け

水栓金具の取付説明書をよくお読みの上、水栓金具を取り付け（取付穴は現場開口）、給水管、給湯管へ接続します。
配管の接続は、いったん配管点検口を取り外し、配管を接続した後、再度点検口を取り付けます。

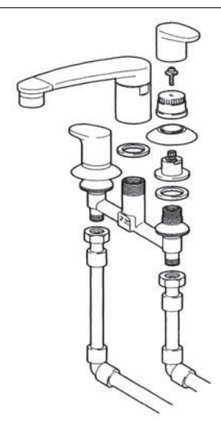
水栓金具の取付位置例



⚠ 注意

配管点検口付の場合は、水栓金具取付後、必ず点検口の周囲にシリコンコーキングをしてください。
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。

水栓金具の組付例



9 排水管の接続

排水トラップを排水管に接続します。

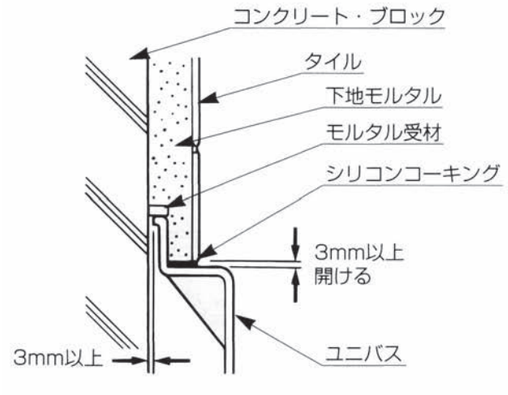
10 確認

設置後、次の事項を確認してください。
●漏水はないか
●水栓金具は正常に作動するか

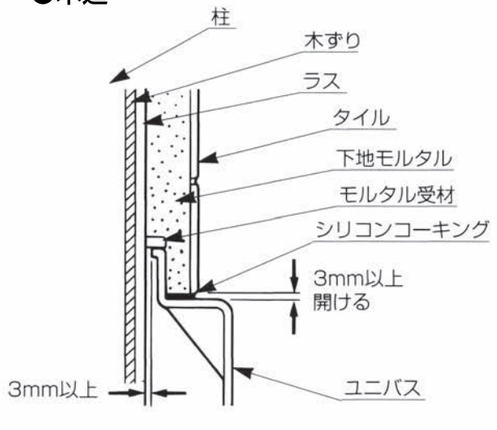
■取合い例

1. 壁材との取合い例

●コンクリート・ブロック造



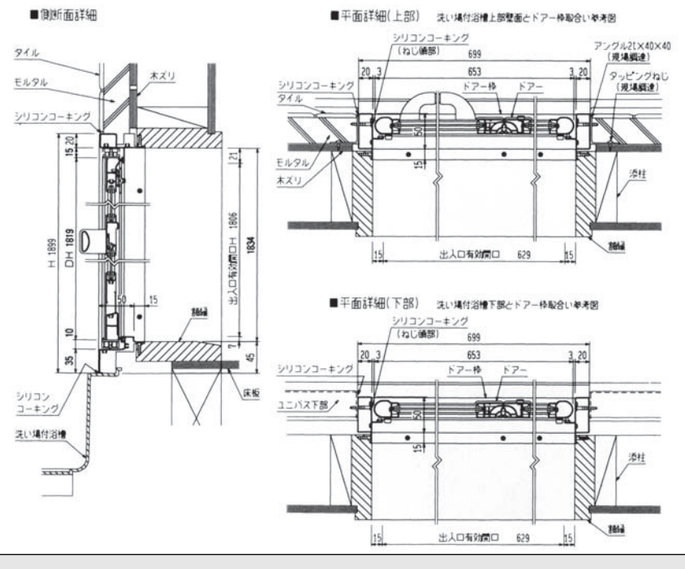
●木造



⚠ 注意

ユニバスと壁・タイルの接合部分は必ず 3mm 以上のクリアランスをとり、シリコンコーキングをしてください。
※設置に不備があると**漏水したり、タイルやユニバスが破損する恐れ**があります。

2. ドアとの取合い例 (VDY-7001900(42) ／ W-M の場合)



⚠ 注意

ドア枠とユニバスの接合部、および壁・タイルとの接合部には、必ずシリコンコーキングをしてください。
※漏水により**家財を汚したり、腐らせる恐れ**があります。